



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月1日

上場会社名 株式会社アシックス

上場取引所 東大

コード番号 7936 URL <http://www.asics.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 尾山 基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理統括部長 (氏名) 佐野 俊之
兼 研究部門担当

TEL 078-303-2213

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	186,298	5.9	16,826	△10.8	15,366	△5.9	8,761	△2.3
23年3月期第3四半期	175,909	7.1	18,853	39.3	16,329	22.4	8,965	59.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 4,648百万円 (28.3%) 23年3月期第3四半期 3,624百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	46.21	—
23年3月期第3四半期	47.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	203,445	109,101	50.1
23年3月期	200,790	106,369	49.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 101,912百万円 23年3月期 99,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	10.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	6.2	20,500	△5.0	18,500	△5.0	11,000	△0.4	58.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	199,962,991 株	23年3月期	199,962,991 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	10,371,331 株	23年3月期	10,359,131 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	189,595,414 株	23年3月期3Q	189,624,377 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成24年2月1日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 連結分類別売上高明細表	10
(2) 地域別売上高	10
(3) 在外子会社為替換算レート	11
(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の政府債務危機や米国の高い失業率などにより、景気回復は弱まりました。日本経済は、東日本大震災の影響による景気の低迷から緩やかに回復しているものの、為替レート・株価の変動、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念などがあり、景気は先行き不透明な状況で推移いたしました。

スポーツ用品業界につきましては、ランニングブームなどを背景に、健康志向によるスポーツへの関心が高まっているものの、厳しい経営環境が続きました。

このような情勢のもと、当社グループは、中期経営計画「アシックス・グロース・プラン (AGP) 2015」に基づき、引き続きグローバルレベルでのランニング事業の強化・拡大を図るとともに、「神戸マラソン2011」、「ニューヨークシティマラソン」、「パリマラソン」、「シンガポールマラソン」をはじめとする世界各地のマラソン大会への協賛や、テグ (韓国) で行われた世界陸上競技選手権大会における日本を含む世界10の国と地域の代表選手団への当社製品の提供など、ブランド力の強化および企業イメージの向上に努めました。

販売面におきましては、ブラジルに「アシックスストアサンパウロ」、台湾に「オニツカタイガー台北」をそれぞれオープンするなど、販売体制の強化に努めました。

アパレル事業におきましては、グローバルでの売上拡大・収益性向上を目指し、香港に「亞瑟士香港服装有限公司」を設立し、スポーツアパレルの開発・生産管理体制の基盤づくりを行いました。

新規ビジネスといたしましては、幼児の運動能力測定サービス「キッズスポーツチャレンジ」をスタートさせ、子どもたちの健全な育成につながる分野の事業を展開しました。

また、社内人材育成制度「アシックスビジネスリーダースクール」を開始し、グローバルで活躍できる人材基盤の強化に努めました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は186,298百万円と前年同期間比5.9%の増収でした。このうち国内売上高は、主にランニングシューズおよびバスケットボールシューズが好調であったため、62,942百万円と前年同期間比4.1%の増収でした。海外売上高は、前連結会計年度において連結子会社としたホグロフスホールディングABおよびアシックスカナダコーポレーションの影響に加え、欧州および米州でランニングシューズが堅調に推移しましたので、123,356百万円と前年同期間比6.8%の増収でした。

売上総利益は主として売上高の増加により、81,954百万円と前年同期間比5.1%の増益でした。販売費及び一般管理費は、主に広告宣伝費の増加などに加え、前連結会計年度に行われた企業結合によって発生したのれんおよび無形固定資産の償却費などを計上した結果、65,127百万円と前年同期間比10.2%の増加となり、営業利益は16,826百万円と前年同期間比10.8%の減益となりました。経常利益は15,366百万円と前年同期間比5.9%の減益、四半期純利益は8,761百万円と前年同期間比2.3%の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産は203,445百万円 (前連結会計年度末比1.3%増)、負債の部合計は94,343百万円 (前連結会計年度末比0.1%減)、純資産の部合計は109,101百万円 (前連結会計年度末比2.6%増) となりました。

流動資産は、たな卸資産の増加などにより、139,514百万円 (前連結会計年度末比2.1%増) となりました。

固定資産は、連結子会社であるアシックスアメリカコーポレーションが配送センターを新設したことによる有形固定資産の増加があったものの、無形固定資産および投資有価証券の減少などにより、63,930百万円 (前連結会計年度末比0.4%減) となりました。

流動負債は、短期借入金や支払手形及び買掛金の減少などにより、50,154百万円 (前連結会計年度末比6.3%減) となりました。

固定負債は、リース債務および長期借入金の増加などにより、44,188百万円 (前連結会計年度末比8.0%増) となりました。

株主資本は、利益剰余金の増加により、119,232百万円 (前連結会計年度末比6.2%増) となりました。

その他の包括利益累計額は、主に為替換算調整勘定が減少したことにより、△17,320百万円と前連結会計年度末に比べ4,533百万円減少しました。

少数株主持分は7,189百万円 (前連結会計年度末比5.0%増) となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月4日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更および誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）に基づき、当第3四半期連結累計期間の「貸倒引当金戻入額」は、「営業利益」に計上しておりますが、前第3四半期連結累計期間については遡及処理を行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,446	26,462
受取手形及び売掛金	55,059	55,235
有価証券	2,766	2,767
商品及び製品	42,373	45,516
仕掛品	307	341
原材料及び貯蔵品	1,044	1,145
繰延税金資産	4,778	4,755
その他	5,918	5,147
貸倒引当金	△2,064	△1,858
流動資産合計	136,629	139,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,612	31,757
減価償却累計額	△19,440	△20,036
建物及び構築物（純額）	12,171	11,720
機械装置及び運搬具	4,509	4,408
減価償却累計額	△3,275	△3,300
機械装置及び運搬具（純額）	1,233	1,108
工具、器具及び備品	9,275	12,053
減価償却累計額	△7,213	△7,668
工具、器具及び備品（純額）	2,062	4,385
土地	10,351	10,421
リース資産	1,539	4,081
減価償却累計額	△596	△901
リース資産（純額）	942	3,179
建設仮勘定	1,203	6
有形固定資産合計	27,965	30,820
無形固定資産		
のれん	5,949	5,046
その他	13,253	11,819
無形固定資産合計	19,202	16,865
投資その他の資産		
投資有価証券	6,650	6,067
長期貸付金	359	352
繰延税金資産	1,758	2,003
その他	9,732	9,310
貸倒引当金	△1,509	△1,489
投資その他の資産合計	16,992	16,244
固定資産合計	64,160	63,930
資産合計	200,790	203,445

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,113	19,639
短期借入金	14,090	11,873
リース債務	327	468
未払費用	7,737	7,856
未払法人税等	1,747	2,508
未払消費税等	588	979
返品調整引当金	620	333
賞与引当金	1,804	543
繰延税金負債	100	85
資産除去債務	23	3
その他	5,370	5,862
流動負債合計	53,523	50,154
固定負債		
社債	16,000	16,000
長期借入金	6,425	7,410
リース債務	779	2,846
退職給付引当金	7,880	8,260
繰延税金負債	3,548	3,475
資産除去債務	514	597
その他	5,748	5,597
固定負債合計	40,897	44,188
負債合計	94,421	94,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	17,182	17,182
利益剰余金	78,963	85,899
自己株式	△7,807	△7,821
株主資本合計	112,311	119,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	954	468
繰延ヘッジ損益	112	294
在外子会社資産再評価差額金	472	402
為替換算調整勘定	△14,327	△18,487
その他の包括利益累計額合計	△12,787	△17,320
少数株主持分	6,844	7,189
純資産合計	106,369	109,101
負債純資産合計	200,790	203,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	175,909	186,298
売上原価	98,300	104,642
返品調整引当金戻入額	599	565
返品調整引当金繰入額	245	267
売上総利益	77,963	81,954
販売費及び一般管理費	59,109	65,127
営業利益	18,853	16,826
営業外収益		
受取利息	308	326
受取配当金	167	174
負ののれん償却額	15	15
その他	486	530
営業外収益合計	978	1,047
営業外費用		
支払利息	324	453
為替差損	2,888	1,928
その他	290	126
営業外費用合計	3,502	2,508
経常利益	16,329	15,366
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	1	9
投資有価証券償還益	—	11
貸倒引当金戻入額	132	—
特別利益合計	135	25
特別損失		
固定資産売却損	11	0
固定資産除却損	153	22
投資有価証券評価損	0	1
投資有価証券償還損	31	107
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	377	—
特別損失合計	574	131
税金等調整前四半期純利益	15,891	15,260
法人税等	6,303	5,982
少数株主損益調整前四半期純利益	9,587	9,278
少数株主利益	622	516
四半期純利益	8,965	8,761

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,587	9,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△351	△483
繰延ヘッジ損益	△474	157
在外子会社資産再評価差額金	△69	△69
為替換算調整勘定	△5,067	△4,234
その他の包括利益合計	△5,962	△4,629
四半期包括利益	3,624	4,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,120	4,228
少数株主に係る四半期包括利益	503	420

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項がないため記載しておりません。

(4) セグメント情報等

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営執行会議が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にスポーツ用品等を製造および販売しており、国内においては当社が、海外においては米州、欧州・中近東・アフリカ、オセアニア/東南・南アジア、東アジアの各地域をアシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパB.V.、アシックスオセアニアPTY.LTD.、その他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

なお、当社グループは、従来「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「アジア・パシフィック地域」および「その他事業」の5つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結累計期間より、「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「オセアニア地域」、「東アジア地域」および「その他事業」の6つを報告セグメントに変更しております。この変更は、当社の中期経営計画「アシックス・グロース・プラン (AGP) 2015」で定めた基本戦略（組織：グローバル組織の構築）を反映させるための報告セグメントの見直しであり、セグメント情報の有用性を高めることを目的としております。

「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「オセアニア地域」、「東アジア地域」は、主にスポーツ用品等を製造および販売しており、「その他事業」は、「ホグロフス」ブランドのアウトドア用品を製造および販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度に対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	63,780	46,046	46,307	7,960	9,219	2,555	175,868	40	175,909
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,556	0	—	—	19	—	9,576	(9,576)	—
計	73,337	46,046	46,307	7,960	9,238	2,555	185,445	(9,536)	175,909
セグメント 利益又は損失	2,245	4,071	9,654	2,334	593	162	19,062	(208)	18,853

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額△9,536百万円には、セグメント間調整によるもの△9,576百万円および報告セグメントに含まれない子会社の売上高40百万円を含んでおります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△208百万円には、セグメント間調整によるもの△251百万円および報告セグメントに含まれない子会社の利益43百万円を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

(単位：百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	65,841	46,822	50,068	7,389	9,866	6,218	186,206	92	186,298
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,662	0	—	—	79	—	9,742	(9,742)	—
計	75,504	46,823	50,068	7,389	9,945	6,218	195,949	(9,650)	186,298
セグメント 利益又は損失	2,869	3,668	7,598	1,747	955	(117)	16,721	105	16,826

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額△9,650百万円には、セグメント間調整によるもの△9,742百万円および報告セグメントに含まれない子会社の売上高92百万円を含んでおります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額105百万円には、セグメント間調整によるもの69百万円および報告セグメントに含まれない子会社の利益36百万円を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

(のれんの金額の重要な変動)

「米州地域」セグメントにおいて、当社の連結子会社であるアシックスアメリカコーポレーションは、Agence Québec Plus Ltéeの全株式を取得いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は988百万円であります。

また、「その他事業」セグメントにおいて、当社は、ホグロフスホールディングABの全株式を取得いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は4,309百万円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

重要な事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項がないため記載していません。

4. 補足情報

(1) 連結分類別売上高明細表

(分類)		前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		増減 (△は減)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
スポーツシューズ類	国内	32,424	18.4	34,561	18.6	2,136	6.6
	海外	102,486	58.3	105,843	56.8	3,357	3.3
	計	134,910	76.7	140,404	75.4	5,493	4.1
スポーツウェア類	国内	18,808	10.7	18,845	10.1	37	0.2
	海外	10,810	6.1	14,183	7.6	3,372	31.2
	計	29,619	16.8	33,029	17.7	3,410	11.5
スポーツ用具類	国内	9,207	5.3	9,535	5.1	327	3.6
	海外	2,171	1.2	3,329	1.8	1,157	53.3
	計	11,379	6.5	12,864	6.9	1,485	13.1
合計	国内	60,440	34.4	62,942	33.8	2,501	4.1
	海外	115,468	65.6	123,356	66.2	7,887	6.8
	計	175,909	100	186,298	100	10,389	5.9

- (注) スポーツシューズ類：ランニングシューズ、陸上競技・マラソン・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ベースボール・テニス等の各種競技用シューズ、ウォーキングシューズ、スクールスポーツシューズ、スポーツスタイルシューズ、ジュニアシューズ、キッズシューズ等
- スポーツウェア類：トレーニングウェア、アスレチックウェア、スクールスポーツウェア、ベースボールウェア、スイムウェア、スポーツスタイルウェア、アウトドアウェア等
- スポーツ用具類：ベースボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ等の各種用具、スポーツバッグ、スポーツネット、サポーター、陸上競技用機器等

(2) 地域別売上高

前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	その他	合計
60,440	46,046	48,145	21,276	175,909

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	その他	合計
62,942	46,822	55,168	21,365	186,298

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(3) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	AUD	KRW	SEK
23年3月期第3四半期 (円)	89.32	118.16	80.15	0.0765	11.80
24年3月期第3四半期 (円)	80.33	112.98	83.89	0.0729	12.55
増減 (円)	△8.99	△5.18	+3.74	△0.0036	+0.75
増減比 (%)	△10.1	△4.4	+4.7	△4.7	+6.4

(注) 上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率

		日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業
売上高増減比 (%)	(外貨)	—	+13.1	+13.1	△11.3	—	—
	(邦貨)	+3.0	+1.7	+8.1	△7.2	+7.7	—
セグメント利益増減比 (%)	(外貨)	—	+0.2	△17.7	△28.5	—	—
	(邦貨)	+27.8	△9.9	△21.3	△25.1	+61.1	—
セグメント利益率 (%)		3.8	7.8	15.2	23.7	9.6	△1.9